

CONTENTS

理事長就任のご挨拶 **2**

続報!! H黒-80『北平安』
全国で続々上位入賞中!! **3**

ヨーロッパ諸国の酪農現況
オランダ・フランス・ドイツを視察して **4**

◇JP3H52078 トップ ドリーム◇
ファミリーから No.1インデックス カウが誕生
(乳用種雌牛評価成績全国第1位) **8**

世界の名血を輸入受精卵で
お届けいたします!! **10**

黒毛和種の一大生産地
“九州”を訪ねて” **14**

SIRE

サイア

7

平成20年7月15日号
2008 July
Vol.371



JP3H51825 トレビノの娘
ベギ トレビノ プライス
幌延町／西村 義則氏 所有
母の父／ロンドンデール エスウインド マック ET

YOGAWA
ホルスタインマガジン社

就任のご挨拶



社団法人 ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰

この度、開催された第36回通常総会において理事長に選任され、就任いたしましたので一言ご挨拶申し上げます。

本団は、道内の農業関係団体の家畜人工授精所が統合し、乳肉牛の改良と増殖を通して、酪農畜産生産者の負託に応えるべく設立された組織であります。

設立以来、後代検定事業を基盤として、優秀な種雄牛を選抜しながら遺伝改良の促進による生産性の向上を図り、経営向上にお役に立つよう改良増殖一筋に邁進してまいりました。

これまでの先人のご努力と酪農畜産生産者をはじめ会員や関係機関団体のご理解とご支援に対しまして心から感謝申し上げますと存じます。

さて、酪農畜産は、世界的な穀物類価格および生産資材価格高騰などの影響を強く受け、また、飲用牛乳の消費低迷、肉牛価格の変動など、大変厳しい情勢になっております。

このような中で、ジェネティクス北海道が果たす乳肉牛改良促進の役割は益々重要であると心を新たにしているところであり、遺伝改良の面からこれまで以上に酪農・肉牛経営の安定に寄与して行きたいと考えております。

そのため、関係機関団体の支援・協力を得ながら役職員が一丸となって、改良増殖に係る各種事業の推進に一生懸命努力して行く所存ですので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

新役員

理事長	佐藤 俊彰	理事	小出 秀晃	理事	西 一司
副理事長	枳穀 勝久	理事	岩本 勝男	理事	松下 隆之
副理事長	北 良治	理事	小瀬 泰	理事	浅野 勝善
副理事長	山本 勝博	理事	加茂 道雄	理事	大西 昭男
専務理事	渡辺 浩一	理事	新山 正隆	監事	遠藤 秀孝
常務理事	加戸 敏行	理事	向井地信之	監事	角倉 了一
				監事	安東 正史

続報!! H黒-80『北平安』 全国で続々上位入賞中!!

『北平安』(安平×菊照土井×菊安土井×菊茂土井)は、平成15年1月に間接検定を終了し、成績は既に本誌、ブルブック等で紹介しております。

フィールドにおける成績は、平成15年度ふらの和牛枝肉共励会(H20年11月13日東京食肉市場)で22頭出品中、5頭が『北平安』の枝肉であり、その内3頭が最優秀賞及び優秀賞を獲得したのが始まりでした。

それ以来、全国的に人気急上昇し精液が広く利用され、全国各地の枝肉市場や共励会(共進会・研究会…)等でBMS No.10以上が数多く出品されてきました。

平成19年度 東京都中央卸売市場食肉市場で行われた枝肉共励会などで、出品頭数上位20位以内でロース芯面積がトップの65.9cm²(去

勢40頭 66.0cm²、雌23頭 65.9cm²)であり、出品頭数20頭以上の種雄牛組み合わせで、『北平安×平茂勝』の組み合わせが、ロース芯面積、歩留まり基準値、脂肪交雑(BMS No.)で上位3組に取り上げられました。【表-1】(肉牛ジャーナル2008.5)

現在『北平安』の評価は、「脂肪交雑」・「ロース芯面積」・「かぶりの厚さ」が抜群と定評であり、「平茂勝」をはじめ「気高系」や増体に定評のある「藤良系」への交配で良い結果が多数出ております。

【表-1】成績上位組み合わせ(東京)※20頭以上出品されていた組み合わせ比較したもの

組み合わせ	性別	頭数(頭)	月齢(ヵ月)	枝量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	ハラ(cm)	脂肪交雑(cm)	歩留り基準値	BMS No.
安平照×平茂勝	去勢	22	29.6	508.1	63.0	8.6	2.8	74.5	8.3
	雌	7	30.0	404.8	57.1	7.5	3.0	74.1	8.8
	全体	29	29.7	483.2	61.5	8.4	2.8	74.3	8.4
福之國×安平	去勢	12	29.9	541.9	63.7	10.2	3.2	74.6	9.1
	雌	9	31.6	436.6	63.3	8.9	3.1	75.3	9.4
	全体	21	30.7	496.8	63.5	9.6	3.1	74.9	9.2
北平安×平茂勝	去勢	13	29.3	521.1	67.6	8.9	2.2	75.2	8.3
	雌	12	28.6	457.1	66.3	8.5	3.2	75.4	8.0
	全体	25	29.0	490.4	67.0	8.7	2.8	75.3	8.1



肥育者：新ひだか町 新ひだか町和牛センター 母の父：百合茂 × 母の祖父：藤桜
枝肉重量478kg、ロース芯面積67cm²、BMS No.11、A-5
撮影：(有)北国肉牛商事



肥育者：宮城県 根本仁一氏 母の父：平茂勝 × 母の祖父：神高福
枝肉重量529kg、ロース芯面積77cm²、BMS No.12、A-5
撮影：仙台中央食肉卸売市場



肥育者：宮城県 鈴木秀一氏 母の父：平茂勝 × 母の祖父：第1花国
枝肉重量479kg、ロース芯面積64cm²、BMS No.12、A-5
撮影：肉牛新報社



肥育者：宮城県 三浦 実氏 母の父：第1花国 × 母の祖父：隆栄
枝肉重量482kg、ロース芯面積74cm²、BMS No.9、A-5
今後も、全国の枝肉市場や共励会などの情報を提供してまいります。

ヨーロッパ諸国の酪農現況 オランダ・フランス・ドイツを視察して

1. オランダ

1) 酪農情勢

乳価は約32ユーロセント/ℓ(約52円)で、昨年の38~45ユーロセント/ℓに比べ下がっています。理由としては、昨年・一昨年の乳製品不足が解消傾向にあり、今は生乳需給の調整を行なっているためです。

ホルスタイン種頭数約60万頭、酪農家の平均搾乳頭数75~80頭、平均乳量約8,000kg、脂肪率4.5%、蛋白率3.4%でした。近年では牛舎施設の立て替えや増築が行なわれており、主流は20頭規模のロータリーパーラーで100頭を1人1時間程度で搾乳できる施設が普及しております。これは、ロシア・中国のチーズ・バター消費が拡大しており、EU諸国からの輸出が今後更に増加することが見込まれているためです。原油高騰によ

る燃料価格は軽油で1.46ユーロ/ℓ(約240円)でした。

2) 乳牛改良

改良方向は、第一に乳蛋白量、次に機能性(体型・乳器)、体細胞スコア、受胎性を重視した乳牛改良を行なっています。チーズ生産主要国であり収益性を高めるため、乳蛋白量の向上を追求していました。

人工授精所は大きなものが4箇所あり(HG, KIS, Alta, KI Comp)、年間約500頭の後代検



オランダ
ロータリー
パーラー



オランダ サウスランド牧場



シヤトルの娘(オランダ)



ゴールドウインの娘(オランダ)

定牛を国内のみでサンプリングしており、乳検加入率は約95%、体格審査率75%でした。

EU各地からオランダへエリートカウが集まってきており、北米からの受精卵も多く導入され、それらがファミリーを広げ活躍中でした。

遺伝資源としては、宝庫となりつつある国で、特に、シヤトルやゴールドウイン、オーマン、ポリバーなどの娘牛が活躍しており、北米AIセンター(Select、SEMEX他)からの契約も多く、アウトクロスを意識した計画交配を行なっていました。

3)水槽に金魚？

オランダのある牧場で趣のある光景を見ることができました。

これは、私の習慣ですが、フリーストール牛舎の水槽を覗くことで、その牧場の衛生面が少し把握できるのでよく見ますが、とても澄んだ水槽の中になんと“金魚が泳いでいる？”ではないですか。牧場主に尋ねると、「この金魚には水の浄化作用があり水の藻や牛の餌(食べカス)を食べて生きており、透明度が保たれている。汚れてくると、金魚は表面の方に浮いてきて死んでしまうよ。」とのことで、丸々と太った金魚たちが、水の浄化に余念なく働いているように見えました。ちなみに、牛に飲み込まれることは滅多にないそうでした。



2. フランス

1) 酪農情勢

ホルスタイン種頭数約230万頭でフランス西部に約半数が飼養されております。平均搾乳頭数約50頭(最大300~400頭)規模で、ワーカーを雇用せず家族や兄弟・親戚などパートナーシップでの経営が主流です。特に、長期休暇を取ることが習慣で、交代で休むのに都合が良いとのことでした。平均乳量7,000~8,000kg、脂肪率4.1%、蛋白率3.4%。乳価は35ユーロセント/ℓ(約58円)で、去年は40ユーロセント/ℓでした。他のEU諸国と比べ乳価の変動はあまりなく、理由としては、チーズ世界第2位の生産量を誇る国だけに価格を安定させるためでした。



フランス酪農家の風景

2) 乳牛改良

国内を大きく4地区に別け、各地区にAIセンターが1ヵ所設定され、後代検定サンプリング頭数は年間約700頭でした。

4AIセンターの一つであるAmelisは、CRIと業務提携を行なっており、年間の後代検定サンプリング頭数は100頭、内60頭は自国産、20頭は北米の受精卵由来、残り20頭はEU諸国からで、候補種雄牛導入頭数は年間約200頭でした。

改良方針は、第一に蛋白量、次に受胎性、体型、体細胞スコアの順であり、長命性(PL)の改良はもう少し検討したいとのことでした。また、国内での契約は血統濃度に問題がありましたが、現在は解消されつつあります。

3. ドイツ

1) 酪農情勢

訪問時の乳価28~30ユーロセント/ℓ(約49円)で、ドイツ南部の酪農家による牛乳出荷のストライキ中でした。その様子がテレビなどで報道され、新聞1面トップにも掲載されました。原因は、原油と飼料価格の高騰、そしてドイツ2大マーケットが乳価値上げを阻止したため、酪農家たちの不満がストライキに発展した様です。実際は牛乳の廃棄、トラクターを使ったデモ行進、ガソリンスタンドに廃材や乾草ロールを置き給油の妨害など行動を行なっていました。なお燃料価格(軽油)は約265円/1ℓでした。



ドイツのデモ記事

10日間のストライキの後、乳価は40ユーロセント/ℓまで上昇し、今回のストライキが成功のものとなりました。EU内で牛乳出荷ストライキは初めてであり、今後他のEU諸国にも影響を与えるのではないかと思います。



哺育牛舎(ドイツ)

2) 乳牛改良

エリートカウが多く飼養されているのは、ドイツ西部地区でした。ドイツ国内は、東西統合後18年が経過しましたが、いまだに経済格差が見受けられ、西部の方が裕福で改良も進んでおります。



ドイツ パーラー

乳牛改良は、現在のトータルインデックス(RZG)が示すとおり能力45%(F:P=1:4)・体型15%・管理形質40%と長命性に関わる形質に重みを置いています。2008年4月よりRZGが変更になり、より管理形質のウエートが増しました。ネガティブでない能力の改良(特に蛋白量)と機能的体型が主であるが、これらに受胎性・体細胞スコア・分娩難易などを考慮した改良に取り組んでいます。

授精所が種雄牛造成用に契約を行っている主な娘牛は、シヤトル、ラモス、ラウダン、ゴールドウイン、タイタニックなど。特にドイツの雌牛評価成績で上位を独占しているのがラモスの娘牛たちで、RZGの変更による長命性・耐久性を重んじた結果が現れておりました。

4. EU乳牛改良状況

EU全体の乳牛改良の現況について、遺伝子輸出入関係者に伺ったところ、重点を置いているポイントとして乳成分の改良と長命連産できる機能的体型と健康性でした。乳成分改良は乳蛋白率をいかに乳脂肪率に近づけるかであり、どの国も一番最初に出てくる言葉でした。機能的体型は、牛群に一産でも多く、一日でも長く残る乳器・肢蹄を備えた耐久性のある牛造りで、これに受胎性・体細胞スコア・分娩難易が加わった改良です。特に、ドイツでは2008年4月公表のトータルインデックス(RZG)において能力が50%→45%へ、そして長命性・健康性に関わる形質が35%→40%へと重み付けが変更になりました。近年では娘牛の受胎性に関する項目にも注目が置かれており、高能力牛でも1年1産できる健康的な牛造りを目指しております。

5. 注目度No.1 “シャトル”

現在アメリカTPI第1位(2008年4月公表)にランキングされている『ピクストン シャトルET』は英国で生まれたエムトの息牛です。彼の娘牛はEU各地でもセカンドクロップが活躍し、各国AIセンターが注目している引き合いの多いブルダムです。娘牛はフレーム雄大で尻幅があり乳用強健性に富み、乳器は付着形状良好で、特に中央懸垂靱帯が強く、尻の構造は正確で調査した娘牛の中で坐骨の高い牛はほとんどいなかったことが印象的でした。能力・体型・管理形質と3拍子揃った今最もホットな種雄牛です。

この他にもエムトの息牛マネージャー(ドイツ)やマスコル(ドイツ)、ジヨコ ベズネの息牛ジヤルデイン(ドイツ)やロウマー(フランス)やストル ジョク(フランス)などのセカンドクロップ娘牛もアウトクロス種雄牛の造成として活躍しております。

6. 最後に

今回の訪問で生産者からよく耳にした言葉は、『この牛の母または祖母は生涯乳量10万kg以上だ』など生涯能力に関することでした。EUでは早期から長命連産に関する改良に取り組んでおり、改良は着々と進んでいるように思えました。遺伝率の低い形質でも積み重ねたデータを基に、より多くの改良情報を取り入れ、一頭当たりの生産性・収益性を高めることとしております。このことは、今

日の日本の乳牛改良にもとり入れる必要があると思います。刻一刻と変化する酪農情勢の中で、いかに高い収益を追求できるか、今後の乳牛改良の課題となってくるのではないのでしょうか。我々ジェネティクス北海道も酪農家の皆様とこれまで以上の関係を築きながら、共に乳牛改良を推進していきたいと思っております。

7. 2008オールドドイツショウ

6月7日～8日の2日間に渡り、ドイツで2008オールドドイツショウが開催され、400頭余りの乳用品種が参集しました。このショウはオープン参加ということもあり、近隣のスイスやオーストリアなどからも乳牛が出品されておりました。未経産は全体的にサイズはさほど大きくありませんが乳用強健性・尻・肢蹄の構造に優れた牛が揃っており、経産牛はフレーム雄大で乳用強健性・肢蹄に優れた牛が揃っており、また乳器においても付着・形状の良い機能性に優れた牛が揃っておりました。シュूपリームチャンピオンにはR&Wホルスタインチャンピオンのデスコムベスカイト アドリアナ(父:カイト)が選出され、リザーブにはB&Wホルスタインのモランデルカイト プレタン(父:カイト)が選出されました。両牛ともスイスからの出品牛であり、また、スイスからの観覧者が多く来ており盛大な歓声に包まれての閉会でした。

(改良部 伊藤克美)



繋留風景(スイスチーム)



審査風景



ジュニア チャンピオン



シュूपリーム チャンピオン



リザーブ シュूपリーム チャンピオン

“JP3H52078 トップ ドリーム” ファミリーから No.1インデックス カウが誕生 (乳用種雌牛評価成績全国第1位)

今年2月に(独)家畜改良センターから公表された乳用種雌牛評価成績2008-Iにて総合指数全国第1位にランキングされた ヘンカシーン

ヒラリー オリーブ ET (GP-83)【北海道湧別町 加藤 智行氏所有】は、本団の人気種雄牛“JP3H52078 トップ ドリーム”と同じファミリーで、好体型・高能力で定評のある ヘンカシーン エム ヒラリー ET (EX-94)の5世代目になります。

エム ヒラリーは、ヘンカシーン ヒルトン フタゴ【9H2246】(♂エルトン)、ヘンカシーン ヒルクレスト ET【7H5742】とヘンカシーン エンペラー ET【73H2897】は、父エモリーによるフルブラザーなどが北米で人気を博し、一躍エリートカウとして世界中の人工授精所の注目の的となりました。(“ヒラリー”ファミリーの詳細は、サイアVol.362を参照ください。)

オリーブの祖々母牛はトップ ドリームの母 ヘン

カシーン ヒラリー ホワイト メイソン ET (EX-91)

【湧別町 ドリームシンジケート所有】で、2005年2月～2007年8月の間、総合指数全国第1位でした。祖母牛 ヘンカシーン ヒラリー デマンド (VG-88)は6頭の優秀な娘牛を生産しており、母牛 ヘンカシーン ヒラリー デイ ハーシエル (VG-89)は雄大なフレームを備えた素晴らしい乳牛です。

オリーブは、極めて輪郭鮮明で鋭角性に富んでおり、乳房底面が高く、父ポリバーの特徴である強い乳房のけん垂を備えています。現在4頭の娘を生産しており、そのうちトイストーリーの娘達2頭はバージンフラッシュに取り組みながら更なる遺伝改良が進められています。また、現在ジェネティクス北海道では雄子牛4頭(♂ブルーブラッド2頭・バクスター・エアレイド)が育成されており、将来の候補種雄牛として期待されています。



ヘンカシーン ヒラリー オリーブ ET



ヘンカシーン ヒラリー デイ ハーシエル



ヘンカシーン ヒラリー デイマンド



ヘンカシーン ヒラリー ホワイト メイソン ET

- ♀ヘンカシーン エム ヒラリー ET EX-94 (父:刺テ)
- ♀ヘンカシーン ヒラリー ホワイト メイソン ET EX-91 (父:メイソン) … NTP全国第7位
- ♂ヘンカシーン トップ ドリーム ET (父:テスク) … NTP全国第14位
- ♀ヘンカシーン ヒラリー デイマンド VG-88 (父:デマンド)
- ♀ヘンカシーン ヒラリー デイハーシエル VG-89 (父:ハーシエル) … NTP全国第2位
- ♀ヘンカシーン ストマティック ヒラリー-VG-89 (父:ストマティック) … NTP全国第24位
- ♀ヘンカシーン ヒラリー オリーブ ET GP-83 (父:ホリバー) … NTP全国第1位
- ♀シレーク ヒラリー デイオリーブ ストリー (父:トイストーリー)
- ♀ホクリン ヒラリー トイオリーブ ET (父:トイストーリー)
- ♀ヘンカシーン UF オリーブ エアレイド ET (父:エアレイド)
- ♀シレーク パーンズ ヒラリー (父:ミスター パーンズ)
- ♀ヘンカシーン ヒラリー レギン ET GP-84 (父:レギン) … NTP全国第100位
- ♀ヘンカシーン ヒラリー フリックス (父:ジエス) VG-85 … NTP全国第8位
- ♀ヘンカシーン ヒラリー メイソン ターラム EX-91 (父:ターラム) … NTP全国第9位

(NTP順位は評価成績2008-Iより)

一方、本団繁養の検定済種雄牛JP3H52078
ヘンカシーン トップ ドリーム ETは2005年2月の
総合指数全国第1位でデビューを飾り、以来、常
に上位にランキングされ続け、現在各地でセカン
ドクロップ牛が搾乳中です。

娘牛はサイズが中程度で肋腹が開張し鋭角
性に富んでいます。また、尻幅が広く質の良い乳
器で、特に後乳房の幅があり、乳房のけん垂が
強く搾乳性に優れているのが特徴です。泌乳能
力は、初産牛群の中でもトップランクで活躍する
牛たちが多いです。

交配には乳房底面の高い特徴をもつジエス
ロの娘牛や肢蹄評価の高いヒルトンやトレビノ、
尻の角度が安定しているデニスやドミトリーやビ
ックガイの娘牛達との交配をお奨めします。トップ
ドリームは評価成績が大変安定しており、アウト
クロス牛として利用できるため、より広範囲に交
配することが可能です。もう一度、貴方の牛群に
トップドリームを交配し、泌乳能力の更に高い牛
群造りに挑戦してみたいはいかがでしょうか。

ヒラリー オリーブが全国第1位に輝いた功績
を称えるとともに今後の活躍をご期待申し上げます。



JP3H52078 ヘンカシーン トップ ドリーム ET



ハートランド ドリーム レオナード (トップドリームの娘牛)
大樹町/天野 幸治氏 所有 母の父/グレントクティン バックナー ET



ベニー ドリーム ケント (トップドリームの娘牛)
別海町西春別/大沼 功氏 所有 母の父/トライエルシユ セルシ ケント ET



カーネーション ドリーム マックス (トップドリームの娘牛)
別海町西春別/大沼 功氏 所有 母の父/ロンドンデール エスウインド マック ET

2産目



キャピテン ドリーム エルピナ (トップドリームの娘牛)
岩手県/高橋 一雄氏 所有 母の父/クオリティ エアロスター ローン ET



バイン TD クインクル (トップドリームの娘牛)
富良野市/三好 孝行氏 所有 母の父/ジュニパー ローテート ジェツド ET
(乳牛改良課 藤田 功)

世界の名血を輸入受精卵でお届けいたします!!

確実にファミリーを形成している「アリシア」と「アデイン」

世界中で最も有名なショー カウであった「ショアマー S アリシア ET (EX-97-3E)」は、北米最高得点97点を獲得し乳器は99点でした。彼女は、2000年のローヤルウインターフェア グランドチャンピオンをはじめ多くの賞歴を持ち、オールカナディアン3回(2歳ジュニア級、4歳級、5歳級)、オールアメリカン2回(5歳級、6歳以上)を獲得しています。

また、彼女のフルシスター「MS キングステッド チーフ アデイン ET (EX-94-2E)」は、2000年母系統群オールアメリカンのメンバーであり、3歳級ジュニアと4歳級でオールアメリカンにノミネートされました。

娘牛、アムレアド リー アリス ETが2003年2歳級ジュニア、孫娘、MD デイライト ダーハム アトレー ETが2005年3歳級シニアでそれぞれオールアメリカン牛を排出する好体型姉妹として世界から注目されております。

アリシアとアデインの父は、一世を風靡したドナデール スカイチーフ ET、母はハノーバーヒル

スターバックの娘牛で北米のショーで活躍したCエイトキンブレイ スターバック アダ (EX-94-2E) です。

好体型姉妹の血液、姉アリシアからは、

1. GHW-453 BKB ラーティスト エンジェル (VG-85-2オカナダ)
父はラーティスト(♂メイソン×♀ローラ ブラック)による娘牛で、大型で母譲りの好乳器で、LPIは+1,830となっています。
2. GHW-508 BKB アリス (EX-90)
父はダーハムであり3才級でEXを獲得した好タイプ牛です。また、妹アデインからは、
3. GHW-472 チェリークレスト ゴールドウイン アデイン
父はゴールドウインで、母はアમેレイド リー エンジェル (EX-90-カナダ)でコムスター リー(♂レイダー×♀ローラブラック)×アデインの組み合わせです。

※GHWは本団輸入ET卵の略号です。

アリシア&アデイン

- ♀ イケノメレイ スターバック アダ EX-94-2E (父:スターバック)
3歳シニア級オール・アメリカ
- ♀ ショアマー S アリシア ET EX-97-3E (父:スカイチーフ)
2歳ジュニア級・4歳級・5歳級オール・カナディアン
5歳級オール・アメリカ
- ♀ シテ化ユー・アール アリシア ET EX-92 (父:ドナルド)
- ♀ BKB アリス ET (父:シリ)
- ♂ BKB アムレアド ET (父:シリ) 94H11020
- ♀ BKB ラーティスト エンジェル VG-85 (父:ラーティスト) [GHW-453]
- ♀ BKB アリス ET EX-90 (父:ダーハム) [GHW-508]
- ♀ BKB チャペロン アリソン ET (父:チャペロン)
- ♀ MS キングステッド チーフ アデイン ET (父:スカイチーフ)
3歳ジュニア・4歳級オール・アメリカノミネート
- ♀ アムレアド リー アリス ET VG-89 (父:シリ)
2歳ジュニア級オール・アメリカ
- ♀ アムレアド リー エンジェル EX-カナダ (父:シリ)
- ♀ チェリークレスト ゴールドウイン アデイン (父:ゴールドウイン) [GHW-472]
- ♀ MD デイライト ストーム アトレー ET VG-88 (父:スターム)
- ♀ MD デイライト ターナム アトレー ET VG-89 (父:スターム)
3歳シニア級オール・アメリカ



ショアマー S アリシア ET EX-97-3E



MS キングステッド チーフ
アデイン ET EX-94-2E



(フォーチュン 8卵)
GHW-453
BKB ラーティスト エンジェル VG-85-2オカナダ
2-03 2X 365 M 14,563 F660 4.5 P514 3.5



(ジャスパー 4卵)
GHW-508
BKB アリス ET EX-90
2-02 2X 327 M 10,591 F511 4.8 P411 3.9



(バクスター 5卵)
GHW-472
チェリークレスト ゴールドウイン アデイン
未経産

カナダで最も繁栄するローリー・シーク ファミリー

コムスター ローリー シーク(VG-88-5オ-カナダ)はコムスター牧場の基礎を築きカナダの乳牛改良に最も影響を与えた名牝牛です。

彼女は、好体型・高能力・高インデックスのファミリーを形成したと同時にショー カウであり、種雄牛、娘牛、そしてその後の世代を通して優秀な遺伝子の伝達者として、23スターとなり1995年カナダのカウ オブ ザイヤーを獲得し、更にアメリカでホルスタインの女王最終選出牛の1頭となりました。

彼女が、2歳シニア級準々オール カナデアン、オール アメリカンに選出された時、TPI No.1種雄牛「ブラックスター」によるETで生産された種雄牛が「リーダー」であり、娘牛3頭、OR ブラックから「アウトサイド」・「ラデュック」、ローラ ブラックから「リー」・「トップ ガン」・「エル ヒーローズ」、祖母となる「リヴェレスト」、ローザンブラックから「ストーマテック」など多数の著名な種雄牛を作出しております。

また、現在では、ローリー シークに「プレリユード」の娘「ルデイ プレリユード」、そして「エマーソン」更に「イグニター」の娘「ローテルマ イグニター」【LPI +4,002 No.2】、更に「タイタニック」の娘「ロータミー タイタニック」【LPI +4,386 No.1】2歳ジュニ

ア級リザーブ オール カナデアンに輝くなど現在も、注目を集めるファミリーです。

1. GHW-452 コムスター ロウシナル インクワイヤー(VG-86-2オ-カナダ) ローリー シークの4代目で父はインクワ イヤー(♂ジユラー)、母はロシアナ・ストーム、祖母はルーサン ブラックです。ロウシナルは極めて鋭角的で乳用性に富んだ高能力牛でLPIは+1,588です。
2. GHW-509 コムスター モデル リズ ポリバー(VG-86-2オ-カナダ) ローリー シークの5代目に当たるリズは、LPI+2,640と極めて高く好乳器です。父はポリバー(♂アメル)で母は高能力を発揮したりザ アウトサイド LPI+3,513です。
3. GHW-510 コムスター モデル ミルキー ラウダン(VG-85-2オ-カナダ) ローリー シークの5代目に当たり、LPI+2,266で高能力を発揮しております。血統は父がラウダン(♂ルーカス【ドイツ】)、母はストーマテック(♂ストーム)の娘牛であるミルクです。
4. GHW-511 ポリーコウ チャンピオン ラトヤ(VG-86-3オ-カナダ) ローリー シークの5代目に当たり、父はチャンピオン、母はリーの娘ラキタ EX-91(アメリカ)を獲得した好タイプ牛です。本牛は、高能力を発揮し2歳M16,600kg、F733kg、P602kgで、LPI+1,817とカナダ上位1%以内になっており、母のラキタも高能力でM20,000kg、F1,000kgを突破しています。

※GHWは本団輸入ET卵の略号です。



コムスター ローリー シークVG-88-5オ カナダ



(ダミオン 2卵)

GHW-452
コムスター ロウシナル インクワイヤー VG-85-4オ-カナダ
2-02 2X 365 M 15,815 F702 4.4 P552 3.5



(シドニー 5卵)

GHW-509
コムスター モデル リズ ポリバー VG-86-2オ-カナダ
2-01 2X 305 M 13,917 F600 4.3 P484 3.5(Proj)



(バージワイア 3卵)

GHW-510
コムスター モデル ミルキー ラウダン VG-85-2オ-カナダ
4-08 2X 365 M 16,604 F733 4.4 P602 3.6

ローリー シーク

- ♀ コムスター ローリー シーク ET VG-88 (父:シー)
- ♂ コムスター リーター ET (父:ブラックスター) 71H1181
- ♀ コムスター IL OR ブラック ET (父:ブラックスター)
- ♂ コムスター アウトサイド ET (父:フレッド) 73H2479
- ♂ リトル ライック ET (父:イト) 28H583
- ♀ コムスター ローラ ブラック ET (父:ブラックスター)
- ♂ コムスター リー ET (父:リター) 73H2239
- ♂ コムスター トップ ガン (父:トップ ガン) 73H2272
- ♂ コムスター エルヒース ET (父:メイト) 72H1758
- ♀ オナーズ TVF ルドワ リー ET VG-88 (父:ルド)
- ♂ コムスター リンクス ET (父:インクワイヤー) JP5H52930
- ♀ コムスター ローザン ブラック ET VG-87 (父:ブラックスター)
- ♀ コムスター ローザン ストーム ET EX (父:ストーム)
- ♀ コムスター ロウシナル インクワイヤー VG-85 (父:インクワイヤー) [GHW-452]
- ♂ コムスター スターマテック ET (父:ストーム) 200H4144
- ♀ コムスター ルディ プレリユード VG-86 (父:プレリユード)
- ♀ ホーラン ルドワ レイ VG-87 (父:ルド)
- ♀ コムスター ラクティ EX-91 (父:リー)
- ♀ ホーラン ラクティ ET VG-86 (父:ラクティ) [GHW-511]
- ♀ コムスター ローレル マーロン ET VG-85 (父:IR-7)
- ♀ コムスター ロウシナル インクワイヤー ET VG-89 (父:インクワイヤー) LPI +4,002 (No.2)
- ♀ コムスター ロウシナル インクワイヤー ET VG-89 (父:インクワイヤー) LPI +4,386(No.1)
- 2歳シニア級リザーブ オール カナデアン
- ♀ コムスター ローリー インクワイヤー VG-87 (父:インクワイヤー)
- ♀ コムスター エテル レイ ET VG-89 (父:ルド)
- ♀ コムスター エテル ライフ アウトサイド ET VG-87 (父:アウトサイド)
- ♀ コムスター エテル リンクス VG-86 (父:リンクス) [GHW-509]
- ♀ コムスター エテル ミルキー スターマテック VG-85 (父:スターマテック)
- ♀ コムスター エテル ミルキー ラウダン VG-85 (父:ラウダン) [GHW-510]

ショータイプ・高インデックスのスポッテイー

「スポッテイー」ファミリーの元祖は、1990年にプレリユードのファーストクロープでローカルショウに登場し、注目されたサニーロッジ プレリユード スポッテイー (VG-87-3歳-カナダ 18スター) です。彼女は6代VGまたはEXの血統に体型と能力、そして長命性を兼ね備えたパーフェクト カウとして、1998年カウ オブ ザ イヤーに選定されました。なお好タイプの娘牛を数多く生産した種雄牛「リンジエツト」はスポッテイーの息子牛です。

「スポッテイー」ファミリーを最も有名にしたのが、第12回全日本ホルスタイン共進会グランド チャンピオンに輝いた「エルムレーン スカイチーフ サニー ET」【恵庭市 福屋牧場所有】であり、そして、3代EXを達成している、2代目「ライブリー スポッテイー ストーム」【別海町 山田光男氏所有】が2003年北海道B&Wショウでグランド チャンピオンをはじめ、全国各地にデーリィキャラクターと優れた乳器の娘達が活躍しております。

1. GHW-385 ミステイスプリングス CS ルシアナ (VG-86-2歳-カナダ) スポッテイー ファミリーの著名牛リーダー レオナの孫娘にあたるルシアナは、ストーマテイツクの娘牛で、母はジエームスの娘牛ルシルは、パワフルな乳器で高能力を発揮、5頭の息子牛をAIセンターに輩出しています。

2. GHW-408 サニーロッジ タイタニック サマンサ (VG-85-2歳-カナダ) 高乳成分でLPI+2,941とカナダを代表する高インデックス牛です。母は高LPIのカナダの著名牛であるアレンスイツテイー (スポッテイーの4代目)、父はタイタニックです。

3. GHW-512 サニーロッジ モーティ セラフィア (VG-86-2歳-カナダ) モーティによるアレン スイツテイーの高能力・高インデックスの娘牛です。LPIは+2,854で素晴らしい乳器を持っています。セラフィアのルーによる娘牛は2007年オールカナディアンにノミネートされています。

※GHWは本団輸入ET卵の略号です。

スポッテイー

- ♀ サニーロッジ プレリユード スポッテイー VG-87 (父:プレリユード)
- ♂ サニーロッジ リンジエツト (父:リジティ) 70H806
- ♀ サニーロッジ フロカー シヤ (父:フロカー)
- ♀ サニーロッジ リターレオナ VG-89 (父:リター)
- ♀ サニーロッジ シェイムス ルシル ET VG-89 (父:シェイムス)
- ♀ ミステイスプリングス CS ルシアナ ET VG-86 (父:ストーマツク) [GHW-385]
- ♀ エルムレーン スカイチーフ サニー ET EX-91 (父:スカイチーフ)
- 第12回(栃木)全日本ホルスタイン共進会グランドチャンピオン
- ♀ ライブリー スポッテイー リジティ ET EX-90
- ♀ ライブリー スポッテイー ストーム EX-92
- 2003年北海道B&Wショウ グランドチャンピオン
- ♀ ライブリー スポッテイー エルトン EX-91
- ♀ サニーロッジ シェイムス シェリル ET VG-89 (父:シェイムス)
- ♀ サニーロッジ ルシル スカリット ET EX-91 (父:ルシル)
- ♀ サニーロッジ アレン スウィーティ ET VG-86 (父:アレン)
- ♀ サニーロッジ タイタニック サマンサ VG-85 (父:タイタニック) [GHW-408]
- ♀ サニーロッジ モーティ セラフィア VG-86 (父:モーティ) [GHW-512]



サニーロッジ プレリユード スポッテイー
VG-87-3歳-カナダ 18スター



(ボルトン 5卵)

GHW-385
ミステイスプリングス CS ルシアナ ET VG-86-2歳-カナダ
2-02 2X 365 M 14,876 F562 3.8 P468 3.1



(ボナイア 5卵)

GHW-408
サニーロッジ タイタニック サマンサ VG-85-2歳-カナダ
2-02 2X 365 M 13,423 F654 4.9 P453 3.4



(ジャスパー 8卵)

GHW-512
サニーロッジ モーティ セラフィア VG-86-2歳-カナダ
2-00 2X 327 M 15,451 F739 4.8 P540 3.5

短期間で一大ファミリーを築いたリンダ

サベージリー ベルウッド リンダ(EX-92-2E)は1996年生まれのベルウッドの代表娘牛で2歳時にM18,000kg、F1,000kg以上を記録した高能力、高インデックス牛です。リンダは超大型で体型に優れ乳器も素晴らしくショウリングで活躍、1999年3ジュニア歳級でオール アメリカンにノミネートされています。

リンダには好タイプ・高能力・高インデックスの娘牛が数多くいますが、その中でもダーハムによるサベージリー リコライス(EX-92-GMD)は代表的な存在です。リコライスのベストレコードは4歳2ヵ月2回365日 M23,233kg F988kg 4.2% P803kg 3.1%で、CTPIは2008年4月現在で+2,167と全米トップクラスです。彼女はショーでも注目の存在であり、2006年のニューヨークインターナショナルスプリングショーでグランドチャンピオンとなり同年5歳クラスで準々オールアメリカンを獲得しました。

また、リンダとアーロンの組み合わせによるサベージリー アーロン リニイ(VG-88-GMD)はリンダの若い時期での娘牛で、高能力・高インデックスを示し数多くの息子牛をAIセンターへ輩出しています。

1. GHW-379 サベージリー リーハンナ(VG-87) & GHW-458 サベージリー リテイ(VG-88)
アーロン リニイの有名な娘牛であり、リーハンナとリテイはチャンピオンの全姉妹で、リーハンナは初産でM16,000kgを突破しCTPIは現在+1,718です。リテイは初産でGV-88点を獲得した好タイプ牛でCTPIは現在+1,669となっています。
2. GHW-502 サベージリー ゼニス ラブ(VG-85)
アーロン リニイのゼニスによる娘牛でデーリィで好乳器のショータイプ牛です。
3. GHW-395 サベージリー リコリー(VG-86)
リコライスのタイタニックによる娘牛で、CTPIは現在+1,916と高水準です。
4. GHW-519 サベージリー ルー レニア
リコライスの孫娘牛で、母はレオラ、父はルーでショータイプを示す未経産牛です。レニアはPTPI+1,747です。

※GHWは本団輸入ET卵の略号です。

リンダ

- ♀ サベージリー リンダ EX-92 (父:ベルウッド)
- 1999年3歳3ヵ月2回オール・アメリカン・ノミネート
- ♀ サベージリー アーロン リニイ ET VG-88 (父:アーロン)
- ♀ サベージリー リーハンナ ET VG-87 (父:チャンピオン) [GHW-379]
- ♀ サベージリー セニス ラブ ET VG-85 (父:ゼニス) [GHW-502]
- ♀ サベージリー リテイ ET VG-88 (父:チャンピオン) [GHW-458]
- ♀ サベージリー ラブ エックラフ ET (父:ラブ エックラフ)
- ♀ サベージリー セニス リア ET (父:ゼニス)
- ♀ サベージリー リコリス ET (父:リコリス)
- ♀ サベージリー リコライス ET EX-94 (父:ダーハム)
- 5歳級準々オール・アメリカン
- ♀ サベージリー リコリー ET VG-86 (父:タイタニック) [GHW-395]



サベージリー ベルウッド リンダ EX-92-2E



サベージリー リコライス ET EX-92-GMD



(ルー 5卵)
GHW-379
サベージリー リーハンナ ET VG-87
2-02 2X 365 M 16,121 F675 4.2 P466 2.9



(バクスター 4卵)
GHW-458
サベージリー リテイ ET VG-88
2-02 2X 305 M 11,712 F427 3.6 P359 3.1



(ジャスパー 5卵)
GHW-502
サベージリー ゼニス ラブ ET VG-85
2-04 2X 181 M 7,984 F388 4.9 P245 3.0(検定中)



(フロント 3卵)
GHW-395
サベージリー リコリー ET VG-86
2-03 2X 309 M 10,637 F420 3.9 P322 3.0(検定中)

尚、詳細につきましては、各事業所職員にお訪ねください。

黒毛和種の一大生産地「九州」を訪ねて

今回訪問した九州は、全国の黒毛和種飼養頭数約165.5万頭の約47.9%を飼養する一大黒毛和種生産地帯です。

都道府県別黒毛和種飼養頭数を見ると、九州南部の太平洋沿岸に当たる鹿児島県が約32.1万頭(全国の約19.4%)で全国第1位、宮崎県が約22.4万頭(全国の約13.5%)で全国第2位です。この両県は、夏に降水量が多い太平洋側気候で、夏から秋にかけて台風の襲来も多く、特に鹿児島県は台風上陸数も日本で「台風銀座」と呼ばれております。

黒毛和種飼養頭数 (*畜産統計平成19年2月1日現在)

地区別頭数			都道府県別頭数(上位11位)		
全 国	1,655,000		順位	全 国	1,655,000
北 海 道	126,100	7.6%	1	鹿 児 島	320,500
東 北	284,400	17.2%	2	宮 崎	224,100
北 陸	10,400	0.6%	3	北 海 道	126,100
関東・東山	134,400	8.1%	4	岩 手	84,200
東 海	71,500	4.3%	5	沖 縄	77,500
近 畿	60,800	3.7%	6	宮 城	75,600
中 国	74,900	4.5%	7	長 崎	70,800
四 国	23,800	1.4%	8	熊 本	62,700
九 州	791,900	47.9%	9	佐 賀	57,200
沖 縄	77,500	4.7%	10	福 島	49,900
			11	大 分	46,300

第7位が長崎県(約7.1万頭・全国の約4.3%)、第8位が熊本県(約6.3万頭・全国の約3.8%)、第9位佐賀県(約5.7万頭・全国約3.5%)、第11位大分県(4.6万頭・全国約2.8%)と九州7県の内6県が全国の上位県です。

今回の訪問は6月初旬で、九州地方は梅雨入りしてしまったため、北海道と比べ、気温、湿度も高く、ジメジメすることを想像していましたが、思ったよりも気温は低く、肌寒いスタートとなりました。

(社)宮崎県家畜改良事業団

はじめに訪問したのは、(社)宮崎県家畜改良事業団(以下 事業団)です。昨年、サイアVol.365でも研修報告を掲載しましたが、今回改めて紹介させていただきます。

事業団では、現在約60頭の種雄牛を飼養しており、毎年9セットの現場後代検定が行なわれております。繋養牛の中で最も有名な種雄牛は、

平成元年生まれ20歳となった『安平』と、弟で平成3年生まれ17歳となった『福桜』の両種雄牛で、高齢となった今でも若々しく、元気に過ごしています。これは母牛:『きよふく』(父:安福)の長命性を強く受け継いだのではないかと思います。

また、『福之国』・『日向国』(父:北国7の8)も産子の枝肉が全国各地の共励会で、入賞の常連となっています。特に鳥取県で開催された「第9回全国和牛能力共進会」の第9部での優等賞第1席、第2席(共にBMS No.12)となったことは記憶に新しいところです。

最近では、両種雄牛の雌子牛の人気が高まっており、今後は繁殖雌牛としての活躍が期待されます。

若い種雄牛では、『勝平正』・『忠富士』・『寿太郎』などの平茂勝産子が現場後代検定で枝肉重量、脂肪交雑値において好成績を収め、全国から注目を集めています。



忠富士

有名種雄牛が多く繋養されている宮崎県の中で『忠富士』は、体高は163cm、体重も1t近い大型の種雄牛で、精液の需要が多く、市場での子牛が高値で取り引きされている種雄牛です。最近では、全国的に大型で脂肪交雑に富んだ種雄牛が多く造成されておりますが(平茂勝産子がほとんどで)、その中でも特に大型で好体型の産子が多いため、繁殖雌牛としての活躍が期待されます。



糸茂勝

その他にも、事業団では『糸茂勝』という宮城県の「茂勝」産子の種雄牛が現場後代検定成績と、交配のしやすさが注目されており、今後、一般の枝肉成績が期待されています。

また、事業団は種雄牛の飼養管理面でも血液成分検査や測尺などから栄養、健康状態のチェックを行い、万全の飼養管理を行なっているので、どの種雄牛も健康状態は良好で、若々しい印象を受けました。

そのほかにも、今後を担う魅力的な次世代種雄牛が数多く繋養されており、今後も先進県として走り続けるだろうと推察されました。

(有)徳重和牛人工授精所

鹿児島県で最初に訪問したのが(有)徳重和牛人工授精所で、ここには誰もが知る超有名種雄牛『平茂勝』を筆頭に『百合茂』・『勝忠平』・『鶴勝』・『亀勝』などの「平茂勝」産子種雄牛と、『安福久』(父:安福165の9)など全国各地で精液が利用されている人工授精所です。



百合茂

『平茂勝』は平成2年生まれで、18歳になりましたが、体型、骨格のすばらしさを間近で見ることが

できました。既に現役を退き、のんびりと過ごしている様子を見て、長年の大活躍に「お疲れ様」と労いのことばをかけました。

平茂勝の後継牛である『百合茂』はしっかりとした体型で、皮フ等の資質も優れていました。

また、近年枝肉共励会で好成績を収めている『安福久』は安福165の9産子種雄牛としては大型で、力強い体型をしておりました。北海道でも特に人気が高い種雄牛として、体型、資質等を間近で見ることができ、今後、市場等で子牛を見る際の良い経験になりました。今回『勝忠平』を見ることができず残念でした。

当人工授精所には11頭の種雄牛が繋養されており、中でも魅力的な種雄牛が『福華1』(平茂勝×安福165の9×糸晴波)で、全兄弟の枝肉成績が良好のため造成された種雄牛だそうです。体型は、「平茂勝」産子らしく体積があり、また資質も富んだ種雄牛なので、産子の枝肉成績に期待したいと思います。

視察して特に感じたことは、丁寧に牛舎を案内して頂いた代表取締役の徳重政子氏やそのご家族、職員の皆さんが、日頃より愛情を持って牛に接していることが、どの種雄牛も大人しく、人なつこいことでわかりました。牛舎を新築されて移転されるということお聞きしました。

萩原人工授精所

鹿児島県で次に訪問したのが萩原人工授精所です。現在『北安德』・『紋次勝』・『高杉土井』等の種雄牛と、繁殖雌牛を飼養している人工授精所です。



紋次勝

萩原社長と奥様が快く対応してくださいました。今後の期待種雄牛は『北安德』（北国7の8×安平×金水9）で体の幅もあり、重厚な印象を受けた種雄牛で、北海道でも子牛市場に上場されています。少数ではありますが枝肉成績が判明しつつあり、枝肉重量、脂肪交雑双方の点からも今後の活躍が期待される種雄牛と思います。

兵庫から導入した『高杉土井』（谷美土井×照長土井×安谷土井）も兵庫系の中では大型の種雄牛であり、「平茂勝」産子雌牛が多い中、大型の田尻系統種雄牛は、魅力的で注目し期待をしたい一頭でした。

長崎県肉用牛改良センター

次に長崎県の長崎県肉用牛改良センターを訪問致しました。長崎県は、黒毛和種飼養頭数が約7.1万頭で全国第7位であり、約2.9万頭の繁殖雌牛がおります。当県の歴史は古く、壱岐（原の辻）、五島（大浜）の貝塚から2,200年前の牛の骨が発掘され、和牛の源流ではないかと考える学者もいるそうです。1,300年代には、牛車用の良牛として全国に名声を博した時期もありましたが、役牛の飼養頭数の激減により、昭和40年代後半から肉用としての増頭が進み、特に離島、半島地域の農業振興に不可欠な産業となっております。

当センターでは、種雄牛を24頭（待機牛含む）飼養しており、年間4セットの現場後代検定を行っております。平成18年度からは間接検定から現場後代検定に移行し、今後はより一般の枝肉成績に近い形で成績が公表できることで、県内外からも期待が高まっています。

最近、人気が高まってきている『平茂晴』を筆頭に『雲仙丸』・『東末博』・『勝21』など北海道でも利用されているおなじみの種雄牛に会うことができました。なかでも『平茂晴』（糸晴美×第20平茂×第2金水）の産子は、少数ではありますが北海道でも子牛市場で上場され、高額で取引されています。今回、場内の説明をしていただいたセンター職員の方からは『平茂晴』の交配は、『牛若丸』の産子雌牛との相性が良く、枝肉成績も良好だそうです。北海道で利用する場合は、『牛



平茂晴

若丸』の産子雌牛の代わりに『福栄』、『安平』、『安平照』などの兵庫系雌牛に交配すると良いのではないのでしょうか。全国各地から繁殖雌牛として積極的に導入が行なわれており、今後の活躍が期待されます。また、現場後代検定実施中ではありますが、「北平安」産子種雄牛が造成されており、「北平安」に対する高評価がうれしい反面、本団としても一刻も早く『北平安』の優良後継牛を造成しなければならないと改めて思いました。

まとめ

今回の視察で多くの黒毛和種種雄牛と出会うことができましたが、九州では地域ごとに特色のある造成、管理を行なっていることを改めて学びました。

宮崎県では全国の優秀な種雄牛の精液を導入し、県内の優良雌牛と交配することで、多様性を持った種雄牛造成が行なわれていました。

鹿児島県の民間授精所では全国各地より、地域の和牛に利用できる種雄牛を積極的に導入しているため、鹿児島県らしい体型の良い種雄牛に多く出会うことができました。

長崎県では、従来の長崎県の種雄牛から優良な後継牛を造成する一方で、県外精液も積極的に利用し、次世代の種雄牛を造成する取り組みを見ることができました。

4日間という短期間ではありましたが、多くの種雄牛に出会い、各県の黒毛和種の改良、種雄牛造成の熱意など見聞することができました。今回、視察を快く引き受けてくださいました各県の人工授精所の皆様には改めて感謝申し上げます。

（十勝北見事業所 矢儀 哲也）